

ラウンドテーブル 卒業生とのシンポジウム

一線で活躍中の先輩をお招きし、現在のお仕事やアカデミック・パス、キャリア・パスなどをお伺いし、在学生のこれからの学習や研究・ネットワークづくりなどを支援していく企画です。

多文化・国際協力量科の授業の一環として開催しますが、在学生・卒業生の方もぜひご参加ください。

■ 日時：2021年10月10日（日）15：30－18：00

■ 場所：津田塾大学 教室ZOOM会議「ラウンドテーブル」

在校生、教職員以外の参加は事前申し込みが必要です

15：30～16：35 セッション1：報告

16：45～18：00 セッション2：討議

【パネリスト】

田中沙季氏（国際関係学科 多文化・国際協力コース 2018年度卒）
東京大学大学院（修士課程）

前田智帆氏（国際関係学科 多文化・国際協力コース 2013年度卒）
公益財団法人 太平洋人材交流センター

大高彩果氏（国際関係学科 多文化・国際協力コース 2017年度卒）
NHK 高知放送局

ラウンドテーブル シンポジウム2021

パネリスト紹介

■ 田中沙季

東京大学大学院修士二年

2019年国際関係学科 多文化・国際協力コース 多文化共生ユニット卒業。卒業論文は、男性性スポーツに取り組む女性競技者のセクシュアリティについて執筆。2019年4月東京大学大学院入学／休学。2019年2月から2020年2月 国際機関の事務局次長秘書としてインターンシップに参加（@タイ王国）2020年4月復学。研究テーマ「女性競技者が施す化粧が競技者自身に及ぼす心理的影響について」。2021年3月卒業予定ビジネスで新興国の人々の生活を支えたいと思い、海外に展開するメーカーに入社予定。

■ 前田智帆

公益財団法人太平洋人材交流センター

2014年国際関係学科 多文化・国際協力コース 国際協力ユニット卒業。大学3年時初めてセネガルに渡航。卒業論文西アフリカ仏語圏の高等教育をめぐる国際移動をテーマに執筆。大学卒業後、JICA青年海外協力隊コミュニティ開発分野で2年8か月セネガルに赴任。農業や女性の収入向上支援の活動を行う。その後、4か月アフリカを旅し、現職にて、産業振興に携わる途上国行政官対象の研修企画・運営等に従事。その他、プライベートでもアフリカコミュニティの運営・イベント企画等を行う。

■ 大高彩果

NHK 高知放送局

2018年国際関係学科 多文化・国際協力コース 国際協力ユニット卒業。卒業論文は、メキシコ南部のある地域で「第3の性」と呼ばれる人たちが、自らをブランド化する中で地域にどのような影響を与えるかをテーマに執筆。卒業後はNHKに入局し、2018年5月から四国地方の高知放送局に配属されて現在に至る。1年目は警察・司法担当として事件事故を取材。2年目から現在まで県政を担当し、今は新型コロナ関連の取材がメイン。その他、福祉分野を中心に、障害学生の支援や孤独死対策などをテーマに企画も作成。